

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		2-	5
事業名	コミュニティバス事業費	会計	款	項	目
		一般	2	1	12
施策	1	安全・安心なまち	課名	政策課	
	1-2	町民参画のまちをつくる	係名	政策係	
	1-2-2	協働によるまちづくりの推進			
主要施策	④公共交通機関の充実				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者が公共交通としてのオレンジバスを利用して、移動ができています。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジバス3台による運行委託 ・地域公共交通会議によるルート・ダイヤの検討 ・バスロケーションシステムによる利便性の確保と利用者データの把握 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1	バス利用者数		103,619	95,150	80,721	人	→	
2	◆公共交通機関 (三岐鉄道、路線バス、コミュニティバス) 満足度	次回アンケートで把握 (H27 29.3)		次回アンケートで把握 (H27 29.3)	22.4 (R元年10月)	%	↑		
3									
4									
5									
				令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)	令和3年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B					73,451	88,824	88,587		
財源内訳	直接事業費 A				66,191	81,564	81,921		
	うち一般財源				51,810	65,059	65,981		
人件費 (千円) B					7,260	7,260	6,666		
内訳	一般職員 (人・千円)			1.1	7260	1.1	7260	1.01	6666
	臨時職員 (人・千円)			0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	令和2年度中に地域公共交通計画の策定を行う。	③取組の課題	コロナ禍による利用人員と運賃収入の減に対する取り組み。
②R2年度に実施した取り組み	令和3年度からの地域公共交通計画の策定を行った。また、令和3年度からのオレンジバスの運賃改定を進め実施した。バス1台の更新を行なった。	④今後の改善計画	地域公共交通計画を進めるとともに、新たな交通手段や手法の検討を進めていく。